

新国立競技場（オリンピックスタジアム）ペDESTリアンデッキ形状の見直しについて

- ◆ 新国立競技場（オリンピックスタジアム）のペDESTリアンデッキ形状を見直し、
明治公園の立体的な範囲を変更して一部を地表化

(第 218 回東京都都市計画審議会（平成 29 年 10 月 31 日開催）において、
明治公園の立体的な範囲の変更を決定)
- ◆ 地表化された公園部分は敷地面積から除くこととするため同面積を変更
- ◆ 外苑西通り側のペDESTリアンデッキ上に予定していたせせらぎについては、
地上部に整備

◆主な建築物の概要

項 目	見直し前（評価書時点）	見直し後
敷 地 面 積	約 113,000 m ²	約 109,770 m ²
建 築 面 積	約 72,000 m ²	約 70,150 m ²
延 床 面 積	約 194,000 m ²	約 193,880 m ²

※緑化面積については、地表化公園となった部分を含めれば変更なし。

地表化により、既存樹木の保存が 1 本増加。

変更前（技術提案～実施設計時）



デッキ形状見直し前の「大地の杜」

(補載は、完成後約10年の姿を想定しております)

出典：「新国立競技場整備事業に係るアドバイザー会議（第2回）資料」（平成29年8月9日（独）日本スポーツ振興センター）

変更後（現在計画中、約3,300㎡を地表化公園に見直し）



(補載は、完成後約10年の姿を想定しております)

外苑西通り側にかかれた「大地の杜」

出典：「新国立競技場整備事業に係るアドバイザー会議（第2回）資料」（平成29年8月9日（独）日本スポーツ振興センター）

変更後（現在計画中。仙寿院交差点からの景観）



※行政協議中のため、今後計画が変更となる場合があります。

仙寿院交差点側からみたイメージ
(変更後)

(植栽は、完成後約10年の姿を想定しております)

スタジアムと外苑西通りを緩やかにつなぐ「大地の杜」

出典：「新国立競技場整備事業に係るアドバイザリー会議（第2回）資料」（平成29年8月9日（独）日本スポーツ振興センター）